



考える子
思いやる子
鍛える子

滑川町立福田小学校 学校だより

お お く す
大楠

H31.4.1 現在
児童数162名
H31.5.23 号
滑川町福田1660-1
TEL 0493-56-2651
文責：校長 西谷

5月も気が付けば、もう下旬

つい先日、10日間の大型連休が終わってしまったと思ったら、5月ももう下旬。慌ただしく日々が過ぎ、今週からはいよいよ運動会の練習が本格化してきました。そんな5月の学校の様子をお知らせします。

★学校評議員会 5/10(金)

公立の小・中学校には「学校評議員会」というものが法令に基づいて置かれています。

学校が、保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となって子供たちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくための制度が学校評議員制度です。

委員は校長が推薦し、教育委員会が委嘱します。今年度は以下の5名の方をお願いしています。

- 服部 幸雄 様 (学識経験者)
- 吉田 憲正 様 (学識経験者)
- 鈴木 由紀子 様 (主任児童委員)
- 志塚 仁志 様 (元滑中PTA会長)
- 小久保 裕之 様 (現PTA会長)

第1回目の学校評議員会では教育委員会より委嘱状の交付があり、その後、全学年の授業を見ていただき、今年度の学校経営方針について校長が説明し、学校運営についてのさまざまなご意見をいただきました。



★5年米作り 5/10(金)

総合的な学習の時間の単元の一つとして5年生が米作りの準備を始めました。稲作の直接体験を通じて、身近な自然や環境に興味・関心をもつことがねらいです。今年度も学校応援団の岩崎千明さんにご協力をお願いして米作りがスタートしました。この日は種もみを苗箱にまいて苗作り。その後、順調に発芽して生長しています。6月に入



たら田植えを行い、秋には刈り入れ。もち米を育てているので、収穫したお米は1月のPTA主催のもちつき大会に使います。

★子どもまつり 5/11(土)

町の子どもまつり実行委員会・中央公民館が主催の「子どもまつり」が5/11に行われました。今年で39回目だそうです。

ミニSLやさまざまなゲーム、町内小学校のPTAのブース、場内の調理室を利用したお団子づくり、科学実験ショーなど盛りだくさん。子供たちは毎年楽しみにしています。今年は福田小からは121人の参加がありました。

福小PTAは毎年恒例のUVビーズを使ったアクセサリづくりのブースを出しました。総務役員のみなさんが中心となり、準備から当日の運営まで行ってくださいました。ありがとうございました。



★児童集会 5/15(水)

5/15の業前に運動会の応援団紹介とテーマ発表の児童集会が開かれました。



今年度の運動会のテーマは「あきらめない 気持ちは勝利の第一歩」です。一人一人があきらめずに勝利を目指して頑張ります。

★新体力テスト 5/14(火)

昭和39年（1964年）の東京オリンピック開催を契機に、国民の体力増進を目的として、国民の体力の情報を集めるために当時の文部省により制定されたスポーツテスト。対象者は10歳以上59歳以下に定められ、行う種目としては、50m走や走り幅跳び、持久走などの「運動能力テスト」と、反復横跳びや背筋力、踏み台昇降運動などの「体力診断テスト」が行われるようになりました。

しかし、平成11年（1999年）には、高齢化社会の到来により、60歳以上の高齢者用の安全性の高いテストが必要となったり、走り幅跳びのように屋内で行えない、天候に左右される項目もあったりして、旧スポーツテストの見直しが行われ、全面改訂されたので「新体力テスト」と呼ぶようになりました。

種目は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン（往復持久走）」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」の8種目です。



←＜立ち幅跳び＞
跳躍力をみるための種目で、屋外なら砂場、屋内ならマットの上で行います。やり方は両足をそろえて踏み切って、前方に跳躍し、最後尾の着地点を計測しますが、尻餅をついた場合は尻が、手をついた場合は手の位置を計測します。



←＜上体起こし＞
筋持久力をみるための種目で、マットの上で30秒間、腹筋運動を行い、その回数を計測します。

＜反復横跳び＞→
敏捷性をみるための種目で、20秒間のうちに、1mの幅に引かれた3本の線の上をまたいで超す回数を計測します。



＜ソフトボール投げ＞
投力をみるための種目で、直径2mの円の中から前方30度の範囲内にソフトボールを投げてその距離を計測します。

←

通学帽子について

今年度から登下校時の通学帽子が学年帽子（体育帽子）に変わりました。この件について4/26のPTA常任委員会で「学年帽子では炎天下ではかなり暑い。つばが小さいので首などが日に焼ける」「学年が分かるのはよいが、色によって（青や緑）周りに溶け込んでしまい、目立たないので危険である」等のご意見をいただきました。

——通学帽子変更の経緯について——

福田小学校では長い間、登下校の通学帽子はかぶるということで、その色や形は自由でした。近年、「これ、かぶり物？」というような奇異な帽子や冬場は耳をすっぽり覆うものや視野を狭めるような帽子が増えてきました。そこで学校生活に合ったもの、安全性の高いものがないだろうということで、宮前小・月の輪小の現状を踏まえた上で、自由ではなく色や形を決めた方がよいだろうということになりました。それが一昨年度のことです。

その際に宮前小や月の輪小のように全員同じ黄色の通学帽子（男子；キャップ型、女子；ハット型）を導入したらどうかという意見がありました。そうすると新たに全家庭に1000円程度の負担を強いることになるし、保管場所の確保も問題なので、それならばふだん使っている学年帽子（体育帽子）が価格面や衛生面、機能面（色については学年カラーにより目立ちやすい、目立ちにくいはあるかと思いますが、複数の学年でまとまって登下校するので、自由でばらばらの色よりは目立つと思われそうです）で適しているだろうということになりました。そこで、昨年度は移行期間として通学帽子は自由でも学年帽子でもどちらでもよいということとしました。



昨年度の1年生は入学当初から学年帽子で登下校する児童も数名いました。そのご家庭からは「学年帽子だから暑くて、寒くて…」というご意見はいただきませんでした。

今年度の1年生の中には左の写真のように取り外しのできる首筋の日よけを工夫して付けているご家庭もあります（体育の時は取り外しますので帽子側にボタン等の固いものは縫い付けません）。また、熱中症対策グッズの首巻きの使用も可ですので、必要に応じて熱中症対策を講じていただければと思います。

学年帽子への移行の経緯を今一度ご理解いただき、ご協力願えればと思います。